



あぐっぴ

第150号

平成23年7月15日発行

議会だより



2P 主な議決内容



4P 常任委員会レポート



5P 議長就任あいさつ



7P 一般質問



16P グループ紹介 「卓遊会」

平成23年第2回定例会

可決

阿久比町立障害者福祉施設の設置及び管理に関する条例の制定

反対討論

辻 忠男 議員

「障害者自立支援法」に基づき制定する条例であるが、障害者自立支援法そのものに数多くの問題点があること、また、指定管理体制にすることで、町民からの要望に対してチェックしにくくなることなど、危惧される点が多い。

賛成討論

都築 重信 議員

平成18年に施行された「障害者自立支援法」により、国内の障害者福祉施設は、この法律に適合した新体系へ移行することとなっている。本町において、対象となる施設は「もちの木園」であり、法律の定めにより、平成23年度末までに新体系へ移行する必要がある。

賛成討論

山本 和俊 議員

現在の「もちの木園」を障害の種類（身体・知的・精神）に関係なく利用できる「障害者福祉施設」として、就労継続支援や生活介護を行う施設とするもので、公設民営として指定管理者に運営させることができるものである。今後は、現在の利用者が混乱することのないよう体制を整えていくことを要望する。

可決

阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員に対して育児休業を与えるため

可決

阿久比町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

現金支払を口座振替とする

可決

阿久比町税条例の一部改正

東日本大震災に係る雑損控除額等の特例

可決

平成23年度阿久比町一般会計補正予算

賛成討論

竹内 一美 議員

新保育所建設事業費、保育園用地費は、予算編成時に道路等用地取得要綱の規定に基づき、予算化されたものである。用地測量と土地鑑定評価を行った結果、今回増額するもので、これは新保育所建設にはどうしても必要なものであり、この増額は正当なものであると考える。

民間木造住宅耐震改修補助金10棟分追加の補正額600万円については、今後の耐震改修をさらに促進するため、ぜひとも必要と考える。

議案等

◎全員賛成可決
○賛成多数可決
×否 決

議案

- 阿久比町立障害者福祉施設の設置及び管理に関する条例の制定
- 阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 阿久比町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 阿久比町税条例の一部改正
- 平成23年度阿久比町一般会計補正予算

意見書

- ×原子力発電の推進をやめ、エネルギー政策の転換を求める意見書
- ×憲法9条を生かし、核兵器のない世界を目指すとともに非核3原則の厳正遵守することを求める意見書

陳情

働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

第2回臨時会(5月9日)

同意案

- ◎監査委員の選任

決議案

- ◎議会だより編集特別委員会設置に関する決議

推薦

農業委員に

竹内 文江氏 (草木)

議会として次の方を農業委員に推薦しました。



意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

賛成少数

原子力発電の推進をやめ、エネルギー政策の転換を求める意見書

提出者 杉野 明議員

新たな被害を出さないため、原発推進政策から自然エネルギーへと転換すべきである。

- ① 今回の経験を踏まえ、原発の新增設計画は中止し総点検を行うこと。
- ② 老朽化した原発の「延命」はやめ、直ちに廃炉にすること。
- ③ プルトニウム利用の核燃料リサイクル政策を中止すること。
- ④ 原子力行政とエネルギー政策を見直し、自然エネルギーへの転換を図ること。
- ⑤ 「地域防災計画」を見直し「原発災害」も視野に、ヨウ素剤配備なども含めた計画を立てること。

反対討論

三留 享議員

我が国は日常生活や生産活動のための膨大な需要構造。一方供給は石油・石炭・天然ガス等化石燃料のほぼ100%を輸入。水力発電立地の困難性、自然エネルギーの実用化技術、自然環境への影響、国土事情等から、電力の30%を賄う原子力発電の代替には到底なりえないと考える。原子力利用を永久的に廃止することは将来に大きな禍根を残すことになる。厳格な審査による当面の原発停止はやむを得ないが、我が国のエネルギー安全保障の見地から、「真に安全な原子力発電」の確立を待って、再開すべき。

賛成討論

辻 忠男議員

福島原発災害は、決して自然災害だけの事故とは言えない深刻な問題で、未だに収束の道筋もはっきりしない。

現在停止している浜岡原発は、活断層の上にあり、施設の老朽化や防波堤の問題もあり、とても安全だと言い難い原発である。

世界でも原発廃止の動きが出てきており、原発推進から自然エネルギーへと政策転換が必要である。

賛成少数

憲法9条を生かし、核兵器のない世界を目指すと

ともに非核3原則の厳正遵守することを求める意見書

提出者 辻 忠男議員

憲法前文に「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」とし第9条に戦争放棄と戦力及び交戦権の否認を定めている。

- ① 憲法9条を生かし、核兵器のない世界を目指すこと。
- ② 非核3原則を厳正に遵守すること。

反対討論

三留 享議員

我が国の現行憲法は、敗戦後の国家主権のないときにGHQ（連合国軍総司令部）によって制定されたものであることが今や国民の常識となった。そして国がその生存のために自衛権を持つことはすべての国に与えられた権利であり、確固とした防衛努力こそが安全と平和を実現するという国民世論の成熟は、防衛庁を防衛省に格上げした。

核兵器廃絶は理想としては正しいが、現実としては核保有国（中国、北朝鮮、ロシア等）が増えている。核兵器の製造と保持をしないことを国是としている立場からは、アメリカの核による抑止力が不可欠である。よって、我が国の存続のために、非核3原則の遵守に賛同はできない。

賛成討論

杉野 明議員

日本は世界で唯一の被爆国。阿久比町民の核に対する不安の解消と生命の安全確保のため

- ① 憲法9条を生かし、核兵器のない世界をめざすこと。
- ② 非核3原則を厳正に遵守すること。

陳 情

働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

- ① 働く者の権利を守り、生活の向上を実現してください。
- ② 住民の暮らしを守り、安全・安心の公務・公共サービスを拡充してください。
- ③ 憲法9条を擁護し、核兵器廃絶・平和に向けた施策に取り組んでください。

総務建設

条例の一部改正と一般会計補正予算

当委員会に付託された4議案を審議した。

議案の主な内容は、町職員の育児休業等に関する条例、町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例、町税条例のそれぞれの一部改正、及び平成23年度一般会計補正予算であった。

一般会計補正予算では防災備蓄品の現状、耐震診断、耐震改修の現状と今後の対応、財政調整基金の今後の見通しについて等の質問があった。

議案4件は、全て全員賛成で原案通り可と決した。

(竹内一美議員)



愛知県建築物地震対策
推進協議会パンフレット

文教厚生

障害者福祉施設条例の制定を審議

当委員会に付託された2議案を審議した。

議案の内容は、阿久比町障害者福祉施設の設置及び管理に関する条例の制定と、平成23年度阿久比町一般会計補正予算である。

阿久比町立心身障害者小規模授産所を障害者自立支援法に基づく障害者福祉施設に平成24年3月31日までに移行するための条例の制定を賛成多数で可と決した。

平成23年度阿久比町一般会計補正予算は、新保育所用地費を決める鑑定は一社ではなく数社にするようにとの意見が出された。全員賛成で可と決した。

(都築重信議員)



もちの木園

新体制でスタート!!

議長就任あいさつ



町民の皆さまには、平素から町議会に対して深いご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

東日本を襲った大災害は、家も町も破壊され、多くの尊い人命が犠牲となり、また避難生活を余儀なくされていることに衷心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

5月の臨時会において新体制が整い、議員各位のご推挙により、不肖私が議長の要職に就かせていただくことになりました。誠に身に余る思いと、その重責に身の引き締まる思いです。

今日の町政に目を向けますと、財政の健全化・住民福祉及び教育環境の充実など、重要課題が山積みとなっております。議会としましては、住民生活の安定に向けて議論を重ねながら、議会の権限を発揮していくことが、私たち議員の役割であり、使命であると考えます。

議会の運営にあたっては、従来のやり方に捉われず、新しい考え方や感覚を尊重し、議論を深める方針で進めて参ります。

そして、町民の負託に応え、町の発展と福祉向上のため、誠心誠意努力する所存です。

町民の皆さまとともに、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、今後とも皆さまのさらなるご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

議長
勝山 制

副議長
二井登喜男

監査委員
渡辺 功

功

制

男

文教厚生委員会

委員長 大村 文俊
副委員長 都築 重信
委員 久保 秋男
辻 忠男
二井 登喜男
三留 亨
山本 和俊
渡辺 功



総務建設委員会

委員長 新美 秀夫
副委員長 竹内 一美
委員 勝山 栄治
沢田 道孝
杉野 明
鈴木 一夫
渡辺 和幸



政治倫理審査会

委員長 二井 登喜男
副委員長 久保 秋男
委員 辻 忠男
新美 秀夫
三留 亨
渡辺 和幸



議会だより編集特別委員会

委員長 二井 登喜男
副委員長 沢田 栄治
委員 久保 秋男
竹内 一美
都築 重信



議会運営委員会

委員長 久保 秋男
副委員長 渡辺 和幸
委員 新美 秀夫
大村 文俊
杉野 明
鈴木 一夫



知多地区農業共済 事務組合議会議員

勝山 制
竹内 一美

知多中部広域事務組合 議会議員

勝山 制
新美 秀夫
渡辺 功

東部知多衛生組合 議会議員

勝山 制
大村 文俊
鈴木 一夫

Q&A 一般質問 ここが聞きたい 町政を問う



澤田 道孝 議員

これで良いのかわが町の水道 適正に執行している

Q ①本町の水道料金は愛知県下各自治体の中で（一定条件において）上位から3番目の高額になることが判明した。この事実について伺う。
②水道事業の運営のあり方が、ずさんかつ放漫運営でないのか伺う。（特に第三供給点について。）

A ①本町の水道料金は、13ミリ口径のメーターを設置した一般家庭で、一カ月に20㎡使用した場合の順位では県下54市町村の中で14番目、10㎡使用の場合は20番目になるので、県下のトップクラスではない。

本町では、経費の削減を図りながら30年以上に渡り水道料金を据え置いてきた。さらに、本年4月分料金からは、住民負担を軽減するためメーター使用料の廃止による値下げを実施した。

②第3供給点の建設に関する認可申請、基本計画策定、用地所得等、全ての業務で適正な執行に努めた。

本町水道事業の累積赤字は平成22年度決算見込みで5,300万円にお

さえた。今後、漏水の防止による収益の改善等で料金値下げに伴う減収分を補てんしながら、利益を確保して累積赤字の解消を図る。

Q 東日本大震災における福島原子力発電所事故にともない、静岡県浜岡の原子力発電が全面停止となったため、各企業・事業所に節電対策が求められている。本町はどのような対策を考えているのか伺う。

A 通常より前倒しし5月1日から、また期間も10月31日まで延長しクールビズ（軽装運動）を実施している。

また、節電対策研究会を開催し、公共施設における節電対策について協議検討し、蛍光灯の間引き、室内温度の徹底、パソコンの節電プログラムの導入、緑のカーテンの設置などに取り組んでいる。

電光掲示板は、従来午前7時から午後9時まで点灯していたが、3月14日から午後7時までとし、2時間短縮し節電に努めている。



工事中の第3供給点建設地

夏期節電対策は 取り組んでいる

国民健康保険税について

柔軟な対応をしていく



杉野 明 議員

Q

国保加入者の7割
以上は非正規労働者

や失業者・年金者などの
無職者。国保会計の国庫
支出半減は、国保税の高
騰、滞納増という悪循環
を招き、国民皆保険制度
の破壊にもつながる。

①こうした悪循環をどう
とらえるか。

②国保会計への財政支援
をさらに増やすべきでは
ないか。

③滞納者増加が予想され
るがどう対処するか。

A

①加入者が安心して
医療が受けられる

よう、町村会等を通じて
国・県に要望する。

②今年度は一般会計から
1億1千万円を繰入れて
おり、今後、町財政状況
や経済状況を慎重に見据
えていく。

③更なる収納率向上を目
指し、窓口納付相談や多
重債務者相談など、納税
者への理解を深めると伴
に、納税者の事情を考慮
し、柔軟な対応をしてい
く。

防災計画の見直しは

事業を進める

Q

東日本大震災を受け、本町も津波の影響
など防災計画の見直しが必要。

①阿久比町地域防災計画の見直しの計画は。

②河川堤防や橋の総点検を生活道路の確保を。

③移動困難者対策の具体化を。

④木造耐震化予算枠の大幅拡大を。

⑤英比小や新保育園など浸水や液状化対策は。

⑥小中学校で原発の安全神話記述の副読本使用か。

A

①愛知県と連絡を密にし、見直しを行う。
②河川堤防の耐震改修が必要な場合は、県
の河川整備計画に盛り込む。橋は、長寿命化工
事と合わせて計画的に補修していく。

③地域支援者が要援護者と避難できる支援体制
づくりを進める。

④木造の耐震改修費補助基本額の引き上げにつ
いては、国・県に働きかけを行う。

⑤英比小学校は、体育館の建て替え時にキュー
ビクルの嵩上げを行い水害に強い構造とした。

液状化対策は、阿久比町防災マップによると極
めて可能性が低い区域のため、特に行っていな
い。新保育園は、現在の農地を嵩上げし、海抜

を10〜11メートルとして津波対策をすることを
考えている。液状化対策は、搬入土の土質及び

ボーリング調査の結果で検討する。

⑥本町で現在使用している副読本には、「健康
なくらしをささえる」の中で電気はどこからの
ところに、発電のしくみとして、火力・水力・

原子力の発電の仕組みがあるが、安全神話云々
たる記述はない。

ちびっ子広場は

設置を検討

Q

新興住宅地に比べ、子ど
もが安心して遊べる公園の
ない地域もあり、設置を求める
声が聞かれる。

①公園の設置状況。

②ちびっ子広場の設置基準。

③最近のちびっ子広場の設置状
況。

④植は植公園、大古根は西徳吉
公園のみ。公園やちびっ子広場
の必要性、今後整備する計画は。

A

①町内には、陽なたの丘
を除き17地区に38ヶ所の公
園がある。

②ちびっ子広場設置費補助金交
付要綱があり、地区等が設置す
るちびっ子広場の建設等に要す
る経費に対して補助する。

③昭和51年に椋岡地区が椋岡中
部遊園を設置している。

④ちびっ子広場や公園の必要性
は認識している。今後、地区等
からちびっ子広場の設置要望が
あれば、必要性を精査し、補助
金交付要綱に基づき設置を検討
する。



辻 忠男 議員

循環バス試行運行計画は

委員会の試行ルートに尊重

Q 今年10月から長年の町民の願いの循環バスが実現するが以下を問う。

- ① アンケートの取り方と回答の地域・年齢別数。
- ② 検討委員会の検討内容。
- ③ 利用が多いと見込まれる高齢者が、あまり見ないホームページでの公表はなぜか。
- ④ なぜ草木西・日生白沢台・阿久比団地・板山東は通らないのか。
- ⑤ なぜ区長自治会長に4月まで説明しなかったか。
- ⑥ なぜ原案で強行か。

A

- ① 15歳以上の町民のうち2,000人を無作為に抽出して実施。1,145人から回答を得た。地区別の回答率は萩地区・高根台地区が高く、年代別では、60歳代・50歳代が高い。
- ② ルート、ダイヤなど、運行の方針を検討した。
- ③ 広報あぐい1月1日号でお知らせしている。
- ④ 検討委員会で十分な検討を行ったうえで試行運行ルートを決定した。
- ⑤ 3月議会です算可決した後の報告となった。
- ⑥ 検討委員会で決定した試行運行ルートを尊重し運行する。

安心・安全の中身は

事業を進める

Q 東日本大震災を受けて阿久比町の防災計画を根本的に見直す必要がある。

- ① 高根台だけは役場の情報や議会質問がテレビで見られない。
- ② 阿久比町は道路が狭く車が交差出来ない所が多いが整備計画は。
- ③ 行止り等立て看板を。
- ④ 高根台から白沢駅の間は街灯が少なく、樹木が道路にはみだし危険である。名鉄翼ヶ丘駅北踏切が狭く危険である。整備計画は。

A

- ① 現在CACで光ファイバーの整備計画が進められているので、整備が整えばCACを通じて視聴できるようにする。
- ② 道路整備には、関係地主があるため、地元協議が整った箇所から、事業を進める。
- ③ 行止り等の立看板は、必要箇所に看板等を設置しているが、新たに必要な箇所があれば対応していく。
- ④ 防犯灯の設置は、地元要望に基づき計画的に設置し、道路にはみ出している樹木は、枝打ちをする。翼ヶ丘駅北の踏切改良は、知多市へ連絡してある。

保育所計画は

保育士を増員

Q

阿久比町の保育園は近年人口増加で待機児童がでるのではないかと町民から心配の声が出ている。

- ① 宮津保育園・草木保育園では人口が急増し、若い世帯がどんどん入居してこれているが定員は大丈夫か。
- ② 待機児童がでないか。
- ③ 年度別シミュレーションは。

A

- ① 5月1日現在の園児数は宮津保育園が103人、草木保育園が119人であるが、収容できる園児数は宮津保育園が約200人、草木保育園が約150人のため、余裕のある状況である。
- ② 今後、待機児童が出る状況になるようであれば、定員を増やし、保育士を増員して対応する。
- ③ 5歳以下の児童数は把握できるが、児童が保育園幼稚園のどちらに入園するか不明のため、シミュレーションはできない。10月に行う園児募集状況で、必要があれば保育室の改修や保育士の増員をして園児の増加に対応する。

耐震改修の促進は

耐震診断を促し、工事施工を啓発



竹内 一美 議員



来るべく大震災に備え平成20年に阿久比町耐震改修促進計画を計ってきた。「自分の身は自分で守る」は安心安全の原点であると考ええる。

そこで、現在の木造住宅及び公共施設の耐震化実施状況について伺う。

また今後、建築物の耐震化をさらに促進していく対策は。



民間木造住宅の耐震状況については、耐震診断が370件、耐震改修が49件となっている。公共建築物の耐震化工事は概ね完了し、未施工の建築物は、役場庁舎となっている。

住宅の耐震診断を促す方法としては、ダイレクトメールを郵送していく。耐震改修工事を促進するには、広報や回覧等を行い、工事施工内容等の啓発を実施していく。



耐震改修相談会の様子

防災計画の見直しは

県との連携を密に



東日本大震災を踏まえ、地震津波の想定規模の拡大被害想定が見直される。それに対する各自治体の防災計画の見直しも急務になっているが、対応について伺う。



国の中央防災会議は、現在3連動（東海・東南海・南海）地震の想定見直しを進めている。大規模災害が発生した場合、被害を最小限にとどめ災害の拡大を防止するのが急務である。愛知県と、阿久比町の地域防災計画は連動させてあるので、国・県の見直しに続いて愛知県と連絡を密にして防災計画を見直す。



災害状況

撮影：吉嶺充俊
首都大学東京 土質研究室
2007 新潟県中越沖地震被害



都築 重信 議員

あいち森と緑づくり税の利用を

山林復元の協力者を募集

Q 町内の山林で最近、竹が非常に増えている。現在と過去の航空写真を比較してみるとよく判る。

竹やぶの中は本来の植物が全て枯れ、生き物も住めない状況になって生態系が破壊されてしまっている。

あいち森と緑づくり税を利用して、山林の手入れをしてはどうか。

A 竹林の多くは個人が所有しているため、管理は個人がするものと考えている。現在は町が「あいち森と緑づくり税」を活用して、直接この竹を伐採し整備する予定はない。

しかし森と緑は、全安心で快適な暮らしを支えてくれる公益的機能があると考えている。今後、荒廃した山林から緑豊かな山林への復元に協力していただける方々を広報紙などで募集を考えている。



竹の間伐風景

阿久比川の環境は

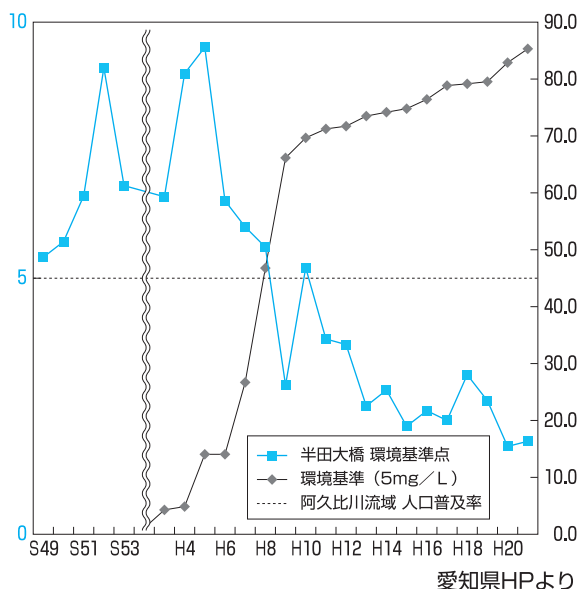
阿久比川を観光資源に

Q 下水道の整備に伴い、水質の向上が期待される。美化につとめ、生きもの豊富な川とすべしと思う。

阿久比川にうなぎやアユが生息するようになれば、観光資源の一つになる。町の考えを伺う。

A 昨年度で市街化区域の下水道整備はほぼ完了した。下水道の普及に比例し、阿久比川の水質は良好になっていく。これは、下水道整備による効果であると考え、今後も下水道への接続率を向上させるなど河川の水質浄化に努めていく。観光協会の立ち上げとともに、阿久比川を観光資源として利用する方策を検討していく。

阿久比川(半田大橋)におけるBODの経年変化



愛知県HPより

農業振興について

利用推進を図る

Q ① 遊休農地解消の取り組みを伺う。
② 計画中の農地基盤整備事業の進捗状況は。

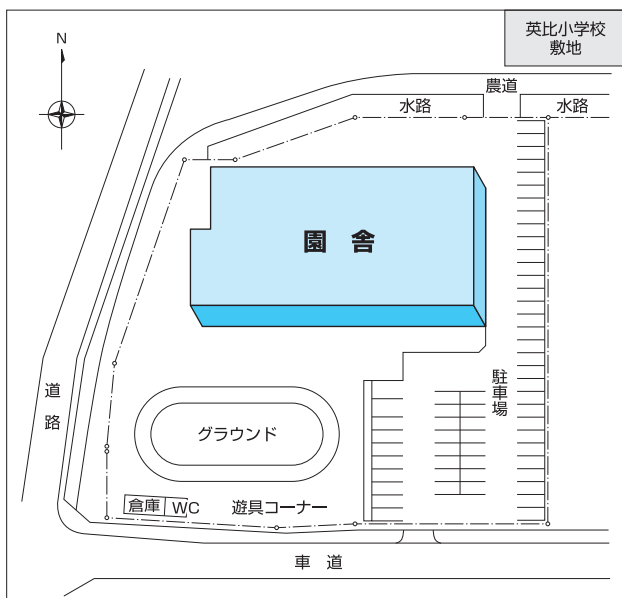
A ① 平成22年6月に地域耕作放棄地対策協議会を設立し、耕作放棄地の再生、利用推進を図っている。この一年間で企業の農業参入や農地・水・環境保全団体による金ゴマ栽培など、約6・9haの解消が図られた。

② 阿久比・矢高地区は平成23年度から計画調査を行い、平成25年度の事業採択を目指す。宮津地区は、事業の必要性についての地主説明会を開催する予定である。

新保育所建設の取り組みは 多様なニーズに応える



大村 文俊 議員



新保育所イメージ配置図



東日本大震災の被害様子

Q

平成25年度
開園を目指す
新保育所建設の取
り組みを伺う。

- ① 多様なニーズに合わせた保育サービスは。
- ② 隣接の英比小学校との共通した取り組みは。
- ③ あぐびつびや保健師との連携は。
- ④ 建設予定地の水害対策は。
- ⑤ 現3保育園の今後は。

A

- ① 通常保育の他、延長保育や一時保育、乳児保育、障がい児保育、子育て支援事業を予定している。
- ② 保育士と教員の相互交流をしているが、距離が近くなることで内容面や回数の充実が図れる。今後は教育委員会と連携して支援することを考えている。
- ③ 障害のある児童は、保健師やあぐびつびの保育士が早期から関わり、障害の程度を把握しているのので、保育園に對して情報をつなぎ継続した支援をする。
- ④ 現在の農地を嵩上げし、海拔を10〜11メートルとして津波やゲリラ豪雨などの水害に対応する計画でいる。
- ⑤ 現時点では、3園とも決まっていない。

Q

1000年に一度と言われる東日本大震災を機会に危機管理体制の見直しについて伺う。

- ① 現在の危機管理体制と見直すべきところは。
- ② 現在の避難場所の問題はないか。
- ③ 職員派遣と防災交通課人事は。
- ④ 住民の防災意識高揚と自主防災会組織強化。
- ⑤ 災害時緊急メールの新たな活用方法を。

危機管理体制の見直しを

災害対策の組織強化を推進する

A

- ① 共助の担い手である自主防災会の組織強化のため、防災委員の創設をお願いしている。東日本大震災の教訓を踏まえ、災害対策の体制をより推し進めたい。
- ② 避難経路・避難場所の見直しを調査研究する。
- ③ 災害対策は、専門知識と経験が重要視されるので災害対策のスペシャリストとなるよう育成に努める。
- ④ 防災講演会などへの参加及び地区での防災訓練の実施をお願いする。
- ⑤ 被害情報・安否確認情報は重要な情報であり、今後情報交換について調査研究する。



循環バスの運行

3年間の試行運転

 ①日生白沢団地とその周辺地区には、現在、独居高齢者世帯が多い。事前のアンケート結果も、70歳以上の77.4%が利用を希望している。このような現状がある中で、同地区への運行ルートは。

②高齢者の利用が多く見込まれるなか、乗り降りや、車内移動がしやすい、余裕のある車両の選定が必要と思うが。

 ①運行ルートは、住民アンケートの結果、ニーズが高い地域を対象とした。

3年間の試行運行を実施するなかで、必要に応じてルートの見直しも行う。

②住民アンケートを基に利用者数は一台1ルート10人程度と予測しているため、15人定員のワゴン車が適切であると判断した。

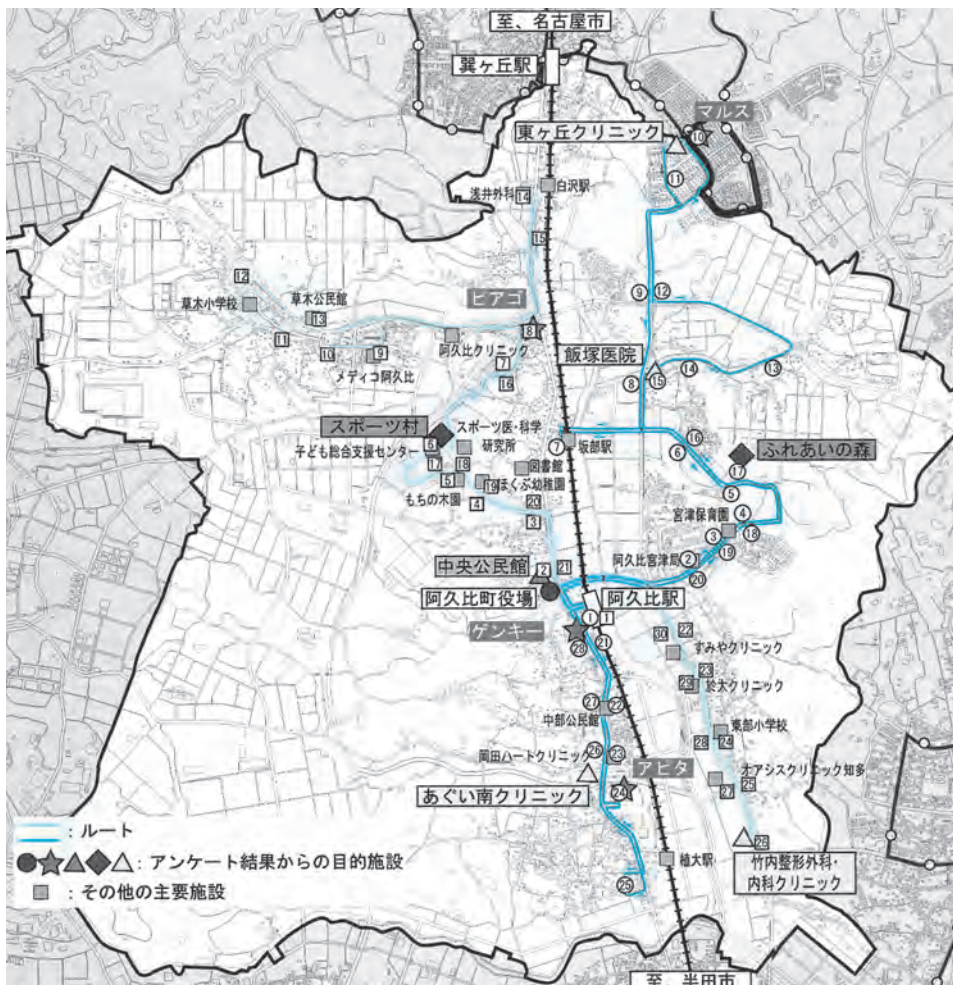
試行運行における利用状況を見て、車両の見直しも検討する。

A ①運行ルートは、住民アンケートの結果、ニーズが高い地域を対象とした。

3年間の試行運行を実施するなかで、必要に応じてルートの見直しも行う。

②住民アンケートを基に利用者数は一台1ルート10人程度と予測しているので、15人定員のワゴン車が適切であると判断した。

試行運行における利用状況をみて
車両の見直しも検討する。



循環バス運行予定路線図

高齢化社会の現状と課題

高齢者世帯増加



渡辺 功 議員



① 高齢化率および高齢者世帯の状況と見通し。

② 年齢別人口（年少人口・生産年齢人口・老年人口）と将来見通し。
③ 高齢社会対策の推進内容。
④ 今後の課題。



① 別表1
② 別表2

③ 地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談、各種教室、講座等。また、介護サービスでは、緊急通報整備、徘徊高齢者支援、高齢者タクシー利用助成等のサービスの実施。
④ 寝たきりや、認知症などの介護を必要とする高齢者が増加する中で、核家族化による、介護力の低下や負担の増加。

別表2 年齢別人口

区 分	20年5月1日	21年5月1日	22年5月1日	23年5月1日
高 齢 化 率 (65歳～)	20.9%	21.9%	22.3%	22.1%
年 少 人 口 (0歳～14歳)	3,497人	3,486人	3,566人	3,806人
生 産 人 口 (15歳～64歳)	16,323人	15,977人	16,181人	16,565人
老 年 人 口 (65歳～)	5,245人	5,467人	5,683人	5,786人

別表1 高齢者世帯数

区 分	20年7月末	21年7月末	22年7月末
65歳以上ひとり暮らし世帯	386人	429人	452人
夫婦とも70歳以上世帯	428人	467人	481人

介護保険の推移

策定中



① 要介護（支援）者と保険給付費の推移。

② 24年度からの介護保険料の予想額と対応。
③ 広域連合での運営に対する見解は。



① 別表3
② 平成24年度から26年度までの介護保険料を算定するため、現在第5期介護保険事業計画を策定中により未定。

③ 広域連合での介護保険事業運営は、電算システム等の調整も課題となることから、現在は考えていない。

循環バスの課題

要望への対応



① 事業者と運営方法。

② バスの種類と台数。
③ 2路線での運行本数と所要時間。
④ バス停やダイヤ等の周知。
⑤ 試行運行期間中での課題や要望等の把握と対応。
⑥ 総合病院等への乗り入れを要請。
⑦ 年間経費および国庫補助金の対象となるのか。



① 大興タクシー(株)に委託し、専用の貸切バスとして運行する。

② 車両は、トヨタハイエースで乗車定員15人で2台とする。
③ 2路線それぞれ6便で所要時間は1時間30分程度を見込んでいる。
④ 町のホームページに掲載し、バスマップや時刻表を全戸配布する。
⑤ 利用者アンケートやヒアリングを行い、運行評価委員会に諮り見直しも行う。

⑥ 当初の試行運転では、町外への運行は行わない。
⑦ 1年間の運行委託費は2,170万円ほどになる。貸切バスのため、国庫補助金の対象にはならない。

別表3 要介護（支援）者数・保険給付費

区 分	21年3月末	22年3月末	23年3月末
要 介 護 者	496人	527人	511人
要 支 援 者	115人	107人	134人
合 計	611人	634人	645人
保険給付費	965,498千円	1,095,776千円	1,129,686千円



鈴木 一夫 議員

自主財源の確保を

工業用地確保と、企業誘致

Q

23年度は循環バスの試行、新庁舎基本設計、新保育所の建設等多額な予算計上である。以下4点を伺う。

- ① 今後の自主財源の確保は。
- ② 阿久比・矢高地区の土地改良事業は工業用地の確保が必要であるが、県企業庁との取組みは。
- ③ 今後、自主財源の増額見込みはあるか。
- ④ 市街化拡大は自主財源確保に有力な施策である。さらなる推進を期待したいがどうか。

A

① 新規の工業用地の確保と企業誘致を進めた

- ② 阿久比・矢高地区及び宮津地区の土地改良事業と併せて工業用地を開発することについては、現下の経済情勢・企業の立地動向等から、立地企業の確保にめどがついた段階で、企業庁が開発の可能性を検討する。

③ 愛知県知多地方税滞納整理機構がスタートしたので、職員の知識と技術の習得とともに収納率のさらなる向上を期待したい。

④ 市街化区域の拡大は、未整備の区画整理予定地を整備のうえ、新たに市街化区域の拡大が必要な場合は、総合計画等に位置付けして検討する。

Q

今年度より着手し平成25年に完成予定である。今までに多方向から十分な検討を重ねた本町の目玉事業である。安全面について以下6点を伺う。

- ① 水害、自然災害等の安全確保は。
- ② 省資源、省エネ、エコ対応は。
- ③ 不審者、侵入者等の安全対策は。
- ④ バリアフリー対応は。
- ⑤ 給食等、食の安全は。
- ⑥ 建設に特に配慮した点は。

A

① 現在の農地を嵩上げし、海拔を10～11メートルとして津波と水害に対応することを考えている。

- ② 省資源対応は、現在3園にある備品等で利用できるものは活用する。省エネ・エコ対応は、太陽光発電の利用や消費電力の少ない照明器具の利用を考えている。
- ③ 職員室を正門や運動場が見やすい場所へ配置する他、門扉の施錠や職員による園内の巡回を行い、不審者等の早期発見に努める。
- ④ 今後、園舎建物の実施設計の段階で園児に優しい内容を考える。
- ⑤ 学校給食センターからの外部搬入を予定し、調理室は保健所の指導を受け衛生面で基準にあった施設にする。
- ⑥ 洪水と津波対策を考え、敷地の嵩上げを予定している他、保護者の希望で60台程度の車が止められる駐車場を確保した。

新保育所の安全確保は

海拔10～11メートルに建設



新保育所建設予定地

卓遊会



はじめまして、阿久比卓球協会所属「卓遊会」です。

当初は、町卓球協会「木曜卓球」として昭和の時代にスタートし、平成19年に会員の高齢化により阿久比在住の高齢者を対象として「卓遊会」を発足、再スタートしました。

会のモットーは、会名にあるように、「卓球の好きな人が集まり、遊びながら健康増進を図る」ことです。

現在会員は、指導員含め27名、全員まだまだ元気で、卓球を通じて第二の青春を謳歌しています。

練習は毎週木曜日、丸山武道場で10時～13時までの3時間。30分の基礎練習、フリー練習、ダブルス練習試合と、遊びながらも技術の向上も目指すメニューです。休憩中も和気あいあい

の雰囲気で行っています。

また、木曜日の練習以外に、町卓球協会主催の各種大会に参加したり、春と秋のお楽しみ会、忘年会、1月初練習日の鏡開き等、多くの行事を実施しています。

昔は、60歳過ぎれば「いいおじいさん、おばあさん」のイメージがありましたが、今は全く違い、若い人にも負けたくないくらい身体も良く動き、心も体も若返ります。

第二の人生で「さて、何をやるのか」と思っておられる方、卓球を始めてみませんか。

町内では是非やってみたいと思われる方、年齢・性別・経験の有無は問いません。一度覗いて見て下さい。

(会担当 石田 精治)

次回定例会

9月8日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX48-1711

議会事務局へ

編集後記

5月の臨時会で選任された編集委員のメンバーです。

『懸命』の二文字で取り組みますので、今後ともよろしく願います。

議会だより編集特別委員会



都築 重信
委員



沢田 栄治
副委員長



二井登喜男
委員長



久保 秋男
委員



竹内 一美
委員